

『インド・カレー紀行 カラー版』

辛島昇／著 木村次郷／写真 岩波書店 (Y383.8 カ)



カレーで有名な国インド。インドの人たちはどんなカレーを食べているの？どんなスパイスを使うの？カレーの起源って？…などを知りたい方におすすめの本です。インドの歴史を研究している著者が、カレーの起源と各地の料理や文化について説明してくれます。豊富な写真を見ただけでカレーが食べたくなってきます。

本格的なレシピも載っているので、ぜひインド料理の味にチャレンジしてみてください！

見る味わう 嗅ぐ触れる 聴く



『かわいい映画のかわいいレシピ。』 B a n z a i n e r / レシピアイデア
ワニブックス (Y596 カ)

『千と千尋の神隠し』『魔女の宅急便』『ハウルの動く城』などのジブリ作品に出てくるあの料理から、『ふしぎの国のアリス』『くまのプーさん』などのディズニー映画に出てくる美味しそうなお菓子が実際に作れちゃうレシピ集！ピングーやムーミンなどの人気のアニメのレシピも載っています。

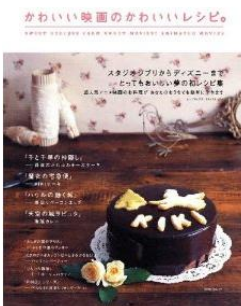
作品の紹介も付いているので、映画を観ながら食べると楽しさが倍増するかもしれません。

他には『かわいい映画のレシピ。2』高沢紀子／レシピ制作

ワニブックス (Y596 カ)

『絵本の中の幸せスープレシピ』東條真千子／著 辰巳出版 (Y596 ト)

『まんがキッチン』福田里香／著 アスペクト (Y596.6 フ)



などもあります。



YA ブックリスト 第24号

平成26年6月発行

稲城市立中央図書館

稲城市向陽台4-6-18

☎042-378-7111

<http://www.library.inagi.tokyo.jp>

E-mail: inagilib@library.inagi.tokyo.jp

稲城市立図書館

ヤングアダルト

BOOK LIST



自分の感覚を 研ぎ澄ましてみよう!

6月は梅雨の季節ですね。

雨が多く、なんとなく気が塞いだり外出が遠のいたりしがち
かもしれません。

そこで今回は、そんな雨の日でも自分の五感を使って
季節や日常の変化を楽しめるような、五感にスポッ
トを当てた本を中心に紹介します。



『五感のピクニック』 杉田比呂美／著 文藝春秋 (Y726.6 ス)



絵本や本の挿絵などを手掛けるイラストレーターの杉田比呂美さんが、五感をテーマに描いた一冊。

一瞬からはじまり、記憶の中の香りや、夜の闇の中で聞こえる日常の音、雨の日の傘の下での居場所など、多くの人が体験したことのあるような日常の出来事が、優しい雰囲気イラストとともに描かれています。

『錯視芸術 遠近法と視覚の科学』 フィービ・マクノートン／著

創元社 (Y145.5 マ)



下りているはずなのに上っているというありえない構造の建物の絵。一見するとなんてことはない絵が、見方によって2通りの絵が存在するという不思議な絵。なぜそのように見えるのでしょうか？私たちの視覚というものが、どのように形成され、錯覚や錯視が起こる謎などを考えることができる本です。

不思議な視覚の世界に迷い込めますよ。

『五感で学べ』 川上康介／著 オレンジページ (Y375.6 カ)

滋賀県にある全寮制の農業学校「タキイ研究農場付属園芸専門学校」の1年を紹介するノンフィクションです。過酷な生活の中で、18歳から24歳の生徒たちが、五感の全てを使って農業を学んでいきます。

仲間と出会い、農業を通して考え方が変化し、成長していく生徒の姿やリアリティのある学園生活が力強く書かれています。



『ハイブリッド・レシピ』 都甲潔／著 飛鳥新社 (Y491.3 ト)



きゅうりとハチミツでメロンの味、プリンと醤油でウニの味など、食べ物の組み合わせで新しい味が生まれるハイブリッド（合成）レシピ。一度は聞いたことがありますか？

この本は「イカの塩辛＋生クリーム＝？」などのちょっと勇気がいるものや「アポロチョコ＋ベビースター塩味＝？」など、身近な食材で簡単に試せる面白レシピがなんと70種類も紹介されています！

不思議な味の世界を体験してみませんか？

「味」について興味がある方には…

『おいしさを科学する』 伏木亨／著 筑摩書房 (Y596 フ)

『ひとりひとりの味』 平松洋子／著 理論社 (Y596 ヒ)

などもオススメです！

『光草 (ストラリスコ)』ロベルト・ピウミーニ／作

長野徹／訳／小峰書店 (Y973 ピ)



画家のサクマツは日の光や埃^{ほこり}に触れることが
できず外に出られない領主の息子のために彼の部屋
の壁に外の世界の絵を描く仕事をする事になりました。
絵は二人の想像力をもとに時の流れや四季の
移り変わりの中で変化していきます。やがて、二人は
「光草 (ストラリスコ)」という見たこともない植物
を描きます。

画家と少年の心の交流を詩情豊かに描くイタリア児童文
学の傑作です。

『ぼくの歌が君に届きますように 青春音楽小説アンソロジー』

天野純希／著 ポプラ社 (Y913.6 ア)

音楽をテーマに6人の作家達が描く短編集。

林田良平が入学した赤星学園は文化部と運動部の戦いが加熱
しています。そんな中、良平の姉、みさきは過去に〈ピースメ
ーカー〉として学園の平和のために奮闘していました。

良平も文化部と運動部のどちらにも属さず、それぞれを唯一
繋げられる放送部へ入部します。

(peacemaker 1974の赤星祭)など音楽好きの方にぴったりの
作品です。



全ての人に五感が備わっているわけではないことは、知っていますよね。
生まれつきの耳が聞こえないとか、病気で目が見えなくなったりとか、事情は
それぞれ違いますが、それを補うために別な感覚が研ぎ澄まされていたりす
るそうです。近くにそういう方がいないと、どういうふうに接したらいいか分
からないことも多いと思います。自分が当たり前と思っていることが違ったり
する、そんな五感の世界も知ってみませんか。

Y378.1 ヒ「さわっておどろく！」広瀬浩二郎他／著

Y369.2 カ「手話の世界を訪ねよう」亀井伸孝／著

Y379.2 ク「だれか、ふつうを教えてください！」倉本智明／著